（別紙５）

災害時要支援者対策促進事業

令和　６　年度　　　　　　災害時要支援者対策ステップアップ事業　　　　　　　報告書

事業実施主体（間接補助事業者）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（米子市社会福祉協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| １　実施地区 |  |
| ２　実施体制 |  |
| ３　事業内容 | |
| ４　事業の成果 | |

　※報告書には、作成した「支え愛マップ」を添付すること。（コピーでも可）

他の補助金の活用の有無　（　有　・　無　）

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所有している部署名や団体名及び連絡先）を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金名 | 事業内容 | 問い合わせ先 |
|  |  |  |
|  |  |  |

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。

（別紙５）

取り組まれた事業に○をしてください。

記入例

災害時要支援者対策促進事業

令和　６　年度　　　　　災害時要支援者対策ステップアップ事業　　　　　　　　報告書

事業実施主体（間接補助事業者）　　　　　　○○○○　　自治会　　　　　　　（米子市社会福祉協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| １　実施地区 | ○○○○自治会 |
| ２　実施体制 | 自治会、有志住民、民生児童委員、在宅福祉員、自主防関係者等　３０名 |
| ３　事業内容  （１）災害発生時、集落全員が助け合って確実に避難できるよう、支え愛マップづくりをし、支援が  　　　必要な人の１人１人について、どんな支援が必要か確認しながら避難体制をつくることができた。  （２）　地域に住む足の不自由な人を円滑に避難させる上で必要となるため、リヤカーと車椅子を設置  　　　し、避難支援を住民同士で行える体制を整えた。  （３）　完成したマップと、購入したリヤカーと車椅子を導入して、支援者による要支援者の避難支援を  　　　含めた避難訓練を実施した。（○月○日実施）  （４）　支え愛マップづくりを通して、災害時に限らず日常的に気配りの必要性があると判明した人には  　　　民生児童委員や在宅福祉員が定期的に声かけを行うなど、平時からの見守り体制についても話合  　　　うことができた。  計画書に応じて、取り組んだ内容を具体的に記入してください。***以下の必須項目は報告書への記載が必要です*。**  **【促進事業の場合】**支え愛マップの作成が必須です。資機材を購入した場合、それを使った訓練等の実施が必須です。  **【ステップアップ事業の場合】**　支え愛会議の開催と、要支援者の課題解決に向けた活動の実施が必須です。活動内容は具体的に記入してください。⇒（例1）新たに自治会役員で見守り隊を組織し、支援が必要な人に毎月1回の巡回訪問を行った。  　　　　　　　　　　 （例2）要支援者の特性に配慮した個別避難訓練を実施し、合わせて炊き出し訓練も実施した。　　等 | |
| ４　事業の成果  新たに生まれた活動や、取り組んでみて感じられたこと等を記入してください。  地域が高齢化する中、災害時の避難や日常生活が１人では難しくなっている人が身近にいることを多くの住民が認識することができた。マップづくりを通じた、一連の活動の中で日頃から要支援者の暮らしを気に掛けることができるようになり、困ったことがあれば助け合おうという気運が高まった。 | |

　※報告書には、作成した「支え愛マップ」を添付すること。（コピーでも可）

他の補助金の活用の有無　（　有　・　無　）

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所有している部署名や団体名及び連絡先）を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金名 | 事業内容 | 問い合わせ先 |
|  |  |  |
|  |  |  |

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。